

創業や新分野へのビジネスプランを支援・顕彰するため、川崎市産業振興財団が主催する「かわさき起業家オーディション」ビジネス・アイデアアシーズ市場」が11日、100回目を迎え、記念式典と最終選考会が市産業振興会館（川崎市幸区）で開かれた。財団の曾禰純一郎理事長は「全国有数のオーディションに育った。交流の場としても活用してほしい」と川崎経済の発展に今後も取り組むことを誓った。

2001年11月に始まり、年間6〜9回開催。海外を含む市内外の起業家に門戸を開放している。受賞者には、市の制度融資や川崎信用金庫による融資の推薦、同財団などの創業支援施設への入居優遇、投資家や事業パートナーとのマッチング、専門家による経営面や販路拡大の相談も行われる。

これまで計1906件の応募があり、今回を含め651件が受賞。受賞企業アンケート（回答100社）では、65%が受賞プランで創業したという。受賞効果で「資金調達が楽になった」「ネットワークが広がった」と答えた企業が多かった。05年12月にグランプリを受賞したIT企業のSHIFIT（丹下大社長、東京都港区）が東証マザーズに上場するなどこれを機に飛躍する企業もある。

記念式典では、福田紀彦

起業支援続け100回

産業振興財団オーディション

（滝村 誠）

市長らがあいさつ。初代審査委員長の山田長満川崎商工会議所会頭も「世界に羽ばたく企業が育ってほしい」と話し、パネルディスカッションなどが行われた。

100回目の最終選考会では、成長性や高い収益性

が見込まれるかわさき起業家大賞には、Secuai（青柳和洋社長、東京都渋谷区）の「ホームセキュリティから始まる安心・安全・便利な社会」が選ばれた。その他の主な受賞企業は次の通り。

- ▽かわさき起業家優秀賞 アシスト（村上潤社長、大阪府河内長野市）、ジャパンスタイルデザイン（山本洋平社長、東京都千代田区）、ニコ・ドライブ（神村浩平社長、川崎市高津区）
- ▽かわさき起業家賞 ユウトハンス（城野徹社長、東京都渋谷区）



かわさき起業家オーディション100回記念式典で、過去の入賞企業などを招いて行われたシンポジウム

川崎市幸区